



広報 やめ消防

YAME FIRE DEPARTMENT

2018年(平成30年)
1月1日(月)発行

【火災件数】

八女市 34件 広川町 10件

【救急件数】

八女市 2,885件 広川町 729件

高速・その他 15件

(平成29年12月5日現在)

【発行】八女消防本部予防課広報係 〒834-0063 八女市本村22-1 TEL(0943)24-1119

明けましておめでとうございます

～本年も安心・安全なまちづくりを目指します～

平成29年を振り返って

1月 文化財防火デー



2月 安全運転講習



3月 一日消防長



4月 消防職員意見発表会



5月 特別救助隊強化訓練



6月 水防訓練



7月 被災地派遣(朝倉市)



8月 少年消防クラブ研修



9月 消防団訓練指導



10月 八女地区総合防災訓練



11月 筑後地域消防救助研修会



12月 防火防災少年剣道大会



年頭挨拶



八女消防本部
消防長 江島 憲一

平成30年の輝かしい新春をご健勝でお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

平素から消防行政の円滑な推進に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の国外の災害を顧みますと、英ロンドンの高層住宅火災、米テキサス州を襲った大型のハリケーンやメキシコでの大地震など、多くの死者を伴う大規模な災害が多数発生しました。

国内においても、集中豪雨や土砂災害、相次ぐ台風の襲来などによる風水害が日本各地を襲い、また、社会的影響の大きい大規模な建物火災も多数発生しました。

幸い八女消防本部管内におきましては、大規模な災害発生はなく、前年同期と比べ火災件数が14件増の44件、救急件数は1111件減の3614件であり、比較的平穏な年でありました。

しかしながら、昨年、朝倉市から日田市を中心に発生した平成29年九州北部豪雨災害は、6年前の平成24年九州北部豪雨を思い返させるものであり、改めて驚異的な自然災害が身近に存在しうることとを再認識させられ、日頃からの

備えと対策の重要性を実感させられた年でありました。当消防本部としても、延30日間、33隊、99名の部隊を朝倉市へと災害派遣し、人命救助及び救援活動を行ったところでもあります。

多様に形を変える災害の発生により、消防を取り巻く環境は、日々変化しておりますが、「如何なる災害からも人命を守る」という消防の使命は不変であり、より充実した防災体制の構築を目指すことは言うまでもありません。

このような時代において、消防・防災活動のキーワードは、「意識・知識・組織」の三識が重要と言わ

れております。日頃からの「防災に対する意識の向上」、「正しい災害対策に関する知識の習得」、そして、「強固な防災組織の確立と組織間の連携」が必要不可欠であるということです。本年は、その防災の核となる、「意識・知識・組織」の重要性を再度見つめなおし、「安全安心なまちづくり」の実現に向けて、大きく邁進していくことといたします。

本年は自治体消防が発足して70周年を迎えます。この記念する節目の年、八女消防本部と八女市消防団及び広川町消防団、並びに各防災関係者の皆様と共に、あらゆる災害への確果敢に立ち向かいながら、職務を遂行していく覚悟でありますので、今後とも当消防本部の各施策に対し、変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸、そして何より、本年が災害のない平穏な一年でありますように心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

(災害件数は平成29年12月5日現在)

平成30年 新春 消防出初式

八女市消防出初式

平成30年1月6日(土) 午前9時から
八女市春の山公園グラウンド

広川町消防出初式

平成30年1月8日(祝) 午前9時から
広川町立広川中学校



訓練の披露やパレードもあります。ぜひ会場に見に来てください！

八女地区総合防災訓練

10月1日、八女市立花運動場において平成29年度八女地区総合防災訓練が行われました。

この訓練には市・町、消防、警察、自衛隊、防災関係機関など49団体と地域住民、延べ約2800名が参加し、今後発生しえる大規模災害に備えるため、それぞれの役割や行動、連携した活動、連絡体制などを確認し合いました。



緊要隊

緊急消防援助隊九州

九州ブロック合同訓練

11月11日、12日の2日間、佐賀県武雄市において、緊急消防援助隊九州

ブロック合同訓練が行われ、八女消防本部から2隊5名が参加しました。東日本大震災や熊本地震のような大規模災害発生時に迅速的確に対応するため、各種合同訓練や野営訓練も行いました。



消火・救助

筑後地域消防救助研修会

11月24日、みやま市消防本部において、筑後地域の8消防本部合同の消防救助研修会が開催されました。

他の消防本部と混成での隊を編成し、雑居ビル火災時の消火・救出訓練や、低所に転落した車両からの救出訓練などを行いました。



救急

大規模災害医療訓練

11月18日、公立八女総合病院と合同で、大規模災害医療訓練を実施しました。大地震が発生したとの想定のもと、病院自体が被災しながらも地域の中核医療機関としての役割を果たすため、災害対策本部の設置、多数傷病者や、重複する救急車の受け入れとトリアージ、さらに病院内の被害状況確認、手術の継続などの対応を確認し合いました。



研修発表

全国消防技術者会議

11月30日、東京都において、第65回全国消防技術者会議が開催され、八女消防本部の古庄浩平消防司令補が、平成24年7月九州北部豪雨での被災経験を元に、各地域で行われている活動や今後の検討課題に関する内容などを発表しました。全国から約1300名もの防災関係者が集まり、防災に関する様々な研究成果を発表し、消防関係者や消防防災分野の技術者との意見交換なども行われました。



準優勝 広川町女性消防団



はベストタイムを更新し、準優勝と大健闘しました。

8月27日、福岡県消防

学校で第3回福岡県女性消防操法大会が開催され、広川町女性消防団が出場しました。6月より2ヶ月半、広川分署の職員が指導にあたり、大会当日

八女消防本部剣道部

全国大会準優勝

12月5日、東京都において、第6回全国消防職員剣道大会が開催され、全国から72チーム、約400名の消防職員が参加しました。先に行われた10月の九州地区消防職員剣道大会で優勝し、九州王者として臨んだ八女消防本部は、予選から全国の並み居る強豪を退け、決勝では東京消防庁と対決、惜しくも敗れたものの見事、準優勝を果たしました。



少年剣士が

熱戦を繰り広げる

12月3日、八女市総合体育館において、青少年の健全育成と防火防災意識の高揚を図ることを目的に、八女地区防災協会主催のもと、第21回八女地区防火防災少年剣道大会を実施しました。今年度は、24チーム延べ120人が参加し、技を競い合いました。結果については次のとおりです。



【高学年の部】

優勝：幸武館（広川町）
準優勝：八女少年剣道クラブ A（八女市）
3位：黒木西道場 A（八女市）
〃：木屋道場（八女市）



【低学年の部】

優勝：三河少年剣道クラブ A（八女市）
準優勝：黒木西道場 A（八女市）
3位：幸武館（広川町）
〃：大淵道場（八女市）

少年消防クラブ

健全育成のために



11月4日、八消会チャリティゴルフコンペが行われ、八女市少年消防クラブ及び八女市上陽少年消防クラブへ寄付をいただきました。各少年消防クラブの活動に活用させていただきます。

的確な消火活動

初期消火功労表彰



10月20日、八女市立花町で発生した建物火災に際し、早期発見と迅速な119番通報及び初期消火を行い、延焼

拡大を防止した2名の方に、八女消防本部消防長から感謝状を贈呈しました。2名の方には心より感謝申し上げます。（左から大神弘嗣さん、小塩秀行さん）

危険物取扱者試験

準備講習会のお知らせ

【日時】

平成30年1月27日（土）
午前8時30分～午後5時30分

【場所】

八女市本村22番地1

八女消防本部3階講堂

【申込期限】

平成29年12月12日（火）から
平成30年1月26日（金）まで

【問合せ】

八女消防本部予防課

0943-24-1119

※試験申し込みについては、各自で忘れずに行ってください。

危険物（重油）流出事故防止について

昨年の11月に八女消防本部管内でハウス園芸用の屋外タンクの配管から、危険物（重油）の流出事故が3件連続して発生しています。

流出させた場合の対策費用は危険物（重油）を流出させてしまった人が全額負担しなければなりません。

貯蔵用タンクの配管等にサビやひび割れの破損がないかを再度確認し、危険物（重油）の流出事故防止に努めましょう。